

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (竹原市立吉名中学校)

- ① 教科等 社会科 ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 「京都の都と摂関政治」
- ④ 本時の目標 史・資料をもとに、平安遷都、藤原氏の政治が説明できる。
- ⑤ 学習の流れ (3時間目/全5時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 奈良時代の復習をする。</p> <p>○律令制の基本である班田収授(公地公民制)が崩れていった過程を確認する。</p> <p>2 本時のねらいを確認する。</p>	<p>・短冊を提示し、並び替えをさせる。</p> <p>・机間指導を行い、ヒントを与え、前時の授業を想起させる。</p>	<p>・藤原氏の系図や経済基盤などの史・資料から必要な情報を読み取り、藤原氏が行った摂関政治について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。〔社会的な思考・判断・表現〕(発言・ノート)</p>
<p>ねらい：史・資料をもとに平安時代、藤原氏の政治について説明できる。</p>		
<p>3 平安京について学習する。</p>		
<p>発問1：せっかくつくった平城京を捨ててまで、新しい都をつくったのはどうしてだろうか。</p>		
<p>○平安京に都を移した背景を考える。</p>	<p>・奈良の寺院の影響をさげ、律令制の立て直しをめざして行われたことに気付かせる。</p> <p>・奈良時代の復習から考えさせるようにする。</p>	
<p>4 摂関政治と国司について学習する。</p>		
<p>発問2：貴族の藤原氏が政治の中心として力をもったのは、どうしてだろうか。</p>		
<p>○藤原氏がどのように勢力を拡大したのか、史・資料をもとに考える。</p>	<p>・藤原氏が天皇の外戚として勢力を拡大したことを、系図を活用し理解させる。</p> <p>・個人思考→グループでの意見交流→発表</p>	
<p>発問3：都で藤原氏が政治をしていた頃、地方の様子はどうだったのだろうか。</p>		
<p>○地方を任された国司たちが行った政治を考える。</p>	<p>・国司藤原元命を訴えた訴状から国司の不正や横暴ぶりを読み取らせる。</p>	
<p>5 本時のまとめと振り返りを行う。</p> <p>○学習内容を自分の言葉でまとめる。</p> <p>○疑問に思ったことや分からなかったことを自己質問カードに記入する。</p>	<p>【まとめ】 平安時代には、律令制を立て直すために都を遷都したが、中央では藤原氏が天皇の外戚として権力を独占し、摂関政治を行った。また、地方では国司が不正や横暴を繰り返し政治が混乱した。</p> <p>・自己質問カードを作成するよう指示する。</p>	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 社会的事象に関する様々な情報を、史・資料、グラフや図表などから読み取ったり、これらを用いて分かりやすく表現したりすることができる。

言語活動の充実のための工夫

- 既習学習の振り返りやできるだけ多くの史・資料を活用し、多面的・多角的に考察させる。
- 自己質問カードを1時間の振り返りとし、自分の理解度をチェックする。